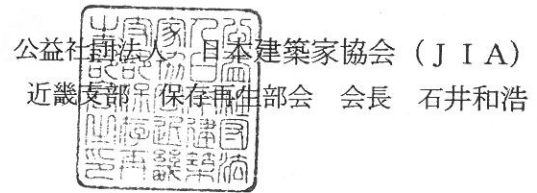


平成 25 年 8 月 9 日

京都府知事 山田 啓二 様



京都府立鴨沂高等学校校舎の保存活用整備に関する要望書

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より本会の諸活動につきましてご理解とご支援を賜り深謝申し上げます。

公益社団法人日本建築家協会は、建築家の職能理念に基づき、建築文化の創造・発展への貢献を目的とする職能団体で、本件のような近代建築の保存や活用に関わる諸問題にも鋭意取り組んでおります。

さて今般、京都府立鴨沂高等学校校舎が全面改築されるとの由、報道等にて聞き及んでおります。

ご高承のように、この上なく優れた立地環境と当該校舎群全体により形成された固有の学校環境は、かけがえのない際立った歴史的な存在となっており、生きた文化財建造物として次代へ継承されるべき大切な価値を有しております。

とりわけ特色ある意匠を有する本館部とその翼部教室棟、寺町通りの町並み景観を形成する図書館、北敷地の体育館と地下通路施設らの巧みな配置設計による佇まいは類例がなく大変に貴重です。

優れた当初設計者や施工者の英知と努力によって成る現存建物には、各々の機能空間特質に応じたきめ細かな耐震性強化策や機能性改善策によって再生活用できる高い資質がみとれます。

オリジナルを尊重する優れた修理や整備の実行で新築相当に蘇らせることができ、これからの持続可能な社会にとって有効な府民の財産になります。

拙速に滅失してしまつては社会的ダメージが余りにも大きくとりかえしがつきません。

貴下におかれましては、この校舎群が有する価値の保存と活用が図られる整備への転換をご英断くださいますよう、切にお願い申し上げます。

なお、私どもは建築家職能団体として本件に鋭意協力させていただきます。

謹言

本件連絡先：公益社団法人 日本建築家協会 (JIA) 近畿支部事務局
〒541-0051 大阪市中央区備後町 2-5-8 綿業会館
TEL(06)6299-3371・FAX (06) 6299-3374